

講座番号 D11	講座名：
	身近な水辺保全と環境問題を考える
講師名：東北工業大学 環境応用化学科 山田 一裕	

対象者	未就学児	小学校 1~3年	小学校 4~6年	中高生	大人
			○	○	○

実施会場	・たまきさんサロン ・受講団体が準備 (教室、講義室など)
------	-------------------------------------

対応人数	4人~60人
所要時間	45分~90分程度
受講者が準備するもの	プロジェクター・スクリーンまたはモニター

参考教科 ※1	小4~小6 社会
参考 SDGs※2	  

※1 学校で利用する際に参考となる教科

※2 参考となる SDGs のゴール

講座	世界の水問題と私たちの食生活とのつながりを身近な食材を通して考える	
講座内容	<p>(講義) *以下より選ぶことができます</p> <p>○世界の水問題と私たちの食生活とのつながり 6年生社会科「世界の中の日本」に関わる内容です。世界の水問題は日本の食生活と密接につながっています。モロッコは日本から遠く離れている国ですが、日本の食卓にはモロッコ産の食材もよく見かけます。モロッコなどの諸外国の産業や環境問題を取り上げ、持続可能な社会づくりのための日本の役割や生活のあり方を考えてもらいます。</p> <p>○みやぎの音風景“北上川のヨシ原” 保全を SDGs の視点で考える 川岸などに普通に生えている水生植物ヨシは、昔から建築(屋根)や建具の材料として使われたり、たくさんの生き物のすみ場であったり、癒やしを与えてくれる場所として利用されてきました。石巻市を流れる北上川下流域のヨシ原は、「残したい日本の音風景百選(環境省)」に選ばれたり、刈ったヨシは、地域の伝統建築物の修復に使われています。地域の人々がどのように関わり、ヨシ資源の利用と保全に向けて取り組んでいるか、SDGs の視点で解説をします。</p>	 <p>授業のようす</p>  <p>北上川下流のヨシ原</p>
講師よりコメント	<p>大学では、水質化学や生態学的方法で水環境の保全や再生のあり方を研究したり、児童向けに水環境問題を理解するための科学実験などの教材やプログラム作りにも取り組んでいます。青年海外協力隊(モロッコ、水質検査隊員)に派遣された経験あり。大学での研究成果などを NPO などでの環境保全活動に還元しながら、実践的な環境問題解決に取り組んでいます。</p>	
備考	<p>実施時間の調整を行うことも可能です。 実施内容については、相談の上、さまざまな教科内容に対応させます。</p>	